

天彦



クラブ活動に物申す

執行部は善意の人達である。今の世に通用するかどうかは知らぬ、そして高潔なものである。……断する所以は我田引水のノシリを受くるかも知れない。……

投稿は生徒昇降口天彦へ五百字以内にて氏名明記の事。

クラブ予算額は微々たるものである。それに拘らず「予算を支給しなければクラブの存在を無視することになる」以前から支給したことは善悪必ずしも適当でないこととなる。……主張するのはない予算を最大限有効に使用せねばならぬのが我々クラブ人の義務であり、かつ二度の会において主張したのである。不意のクラブは臨時の不要なる場合(例えはブレミアを取り得るなど資金の目当がある時は遠慮願いたい)のクラブである。

れよりもそれ相当の出費の要する時に要求すれば良きはなかるか。我々とても大いに善意を表するわけである。かく断じて「天彦」に「理科関係の者の文科関係のクラブに対する不認識」と誤解され非難されたのは心外であり情なくなるが、その非難にノシをつけて返上したい。我々を非難した論者以上我々は文化祭クラブの活動を良く知つてゐる積りである。論者が理科系クラブの活動を知る以上に、かつ我々の願うのは会員のクラブ活動即ち自治活動に対する積極的な参加を要望することの切なものである。そして昇降口に設けられた投票箱一名称が不快であるが、これはクラブ活動の躍動を鼓舞せんがため理科関係の我々が執行部に提案したからなのである。我々の

意見を知らずして貰いたいものである。現在クラブは会員と無関係に軒並の如くその殻に閉じ籠り、クラブ相互の連絡もなく蠢動するのみである如くクラブ活動の低調在り、かく駄弁を振出しめる因ともなるのである。自治熱を盛んにすると駈つた。執行部自体がクラブ活動に対して全く無知なのである。執行部は自治熱を感じずため何んの具体策を示してくれたか。善悪もよからず、公平もよからず。然しそれだけでは自治熱は盛んになりはしないのである。願わくは、会員諸兄姉、諸君のクラブに対する疑問または諸君らの創作物、研究を我々に寄せて頂きたい、然るべく諸君の労作は発表しかつ我々自体反省の糧としよう、大いに投票箱の利用を切に願うのである。(フランス・ラッオゾン)

然るに結果は当然性を無視し不公平に終つたと断するのである。クラブの会計を贈るものではない。その

議論の余地は僅か三〇〇一五〇田幾郎の金額で「クラブ